

アイデアで社会を変える！笑顔で地域をつなぐ！

～平岸マイプロジェクト & ひらこう！キッズプロジェクト～

2026.10. 15

10月10日(土)、札幌地区トラック協会主催の「札幌高校生物流ビジネスコンテスト」がイオン平岡店で開催され、本校からは平岸マイプロジェクトのメンバーによる2チームが参加しました。また、翌11日(日)には、プロジェクトクルーの生徒たちが豊平区児童会館合同行事「あそびの収穫祭」にボランティアとして参加しました。

高校生のアイデアで物流の未来を考える！



「札幌高校生物流ビジネスコンテスト」は、北海道の暮らしを支える物流の課題について、高校生が解決のためのアイデアを考え、発表するコンテストです。

本校からは、1年生の阿部さん・高橋さんによる「つなぐ未来」と、3年生の珍田さん・高橋さんによる「チームサキサキ」の2チームが出場しました。

くじ引きによって発表順が決まり、「つなぐ未来」がトップバッターを務めました。多くの観客が見守る中、2人は緊張を感じさせない堂々とした発表を披露。再配達によるドライバーの負担を、AIを活用して解決するアイデアを提案しました。審査員からは、配達時に荷物を受け取った人からお礼を言われることで、ドライバーのストレスも軽減されるという視点が、「素晴らしい気づき」と評価していただきました。物流の効率化だけでなく、ドライバーの気持ちにまで目を向けた提案となりました。

一方、「チームサキサキ」は、物流について若い世代に知ってもらうことが大切だと考え、小・中・高校生を対象とした物流ゲームを考案しました。ゲームを楽しみながら物流の仕組みや役割を学べるアイデアに、審査員からは「早速、来年から今回のようなイベントでも使いたくなるゲーム」との講評をいただきました。

2チームとも、それぞれの着眼点や創意工夫が評価され、奨励賞を受賞しました！

他校の発表にも触れ、多くの刺激を受けた生徒たち。身近な課題から社会をよりよくする方法を考え、自分たちのアイデアを多くの人に伝える、貴重な経験となりました。



子どもたちの笑顔が広がる！ひらこう！キッズプロジェクト



10月11日(日)には、プロジェクトクルーの3年生、岡さん・小山内さんの呼びかけによって、「ひらこう！キッズプロジェクト」の第2回を実施しました。今回は、ランチ札幌月寒で開催された豊平区児童会館合同行事「あそびの収穫祭」にボランティアとして参加しました。当日は秋晴れに恵まれ、多くの方が来場しました。生徒たちは工作コーナーを担当し、かざぐるまやヒーローのお面づくりを楽しむ子どもたちのサポートをしました。

多くの来場者でにぎわい、当初3つだった工作用テーブルを4つに増やして対応するほどの盛況ぶりでした。



生徒たちは、子どもたち一人ひとりに優しく声をかけ、作り方を教えたり、工作を手伝ったりしながら交流しました。



自分たちのサポートによって子どもたちが笑顔になる姿を見て、「かわいい！」「楽しい！」と、生徒たち自身も活動を満喫していました。

また、来場者の中には中学生のお子さんを持つ保護者の方もおり、平岸高校の学校生活について質問される場面もありました。生徒たちは自分たちの学校についてしっかりと受け答えし、地域の方々との交流を深めていました。